

令和3年度第1回 岡崎市美術博物館協議会会議録

1 開催日時及び場所

令和3年7月9日（金）14：30～16：03

岡崎市美術博物館 1階会議室

2 出席委員（定数10名 2名欠席）

澤 博史 （社会教育・家庭教育） 井上 瞳 （学識経験）

石原 真吾 （学校教育） 長坂 博子 （学校教育）

鈴木 章司 （社会教育） 加藤 安信 （学識経験）

菅沼 和子 （市民公募） 倉光 智子 （市民公募）

（欠席委員は、太田 公典（社会教育） 林 羊歯代（学識経験）2名）

3 館長及び説明のため出席した事務局職員（8名）

美術博物館特任館長 榊原 悟 社会文化部長 手嶋 俊明

美術博物館長 鈴木 智子 美術博物館副館長 鈴木 温子

美術博物館学芸係係長 大澤 一実 美術博物館管理係係長 宮代 秀雄

地域文化広場館長 三宅 葉子 美術館長 村松 和明

4 会議の成立

事務局より、委員10名のうち8名が出席のため、岡崎市美術博物館管理規則第8条第2項の規定により、本日の会議は成立していることを報告した。

5 会議の内容

次第2 報告事項

（1）令和2年度 展覧会開催結果について

議長＝事務局から説明をお願いします。

事務局＝（令和2年度に実施した美術博物館、地域文化広場及び美術館の展覧会について、入場者数、各種企画内容等を資料に沿って説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員A＝コロナの後の「贅沢な対話」展を急ごしらえで準備したと聞いて、本当に大変だったと想像する。年間通しての企画展で委託と自主があるが、それぞれ各展覧会には学芸員が何人くらいで担当しているのか。

事務局＝基本的に主担当1人、副担当1人で行っている。講演会の開催やワークショップについては教育普及担当が別で1名入ることもある。

委員B＝毎年開催している「暮らしのうつりかわり」は地味だが、とてもいいと思う。特に、キャプションにいつのものかだけでなく、今から何年前かと記載してあったのが、見る人の参考になってよかった。地味だがこれからも大事にしてほしい。

委員A＝博学連携はどこの博物館でも毎年同じようにやっているが、こちらの展覧会は毎年特色を出していてよい。

委員C＝土人形。いつ頃どこで作ったものかわかり、また人形の後ろ側を見ることができて、行き届いた展示方法だった。インドの展覧会も初めてだったのでミニチュールが新鮮でよかった。衝撃を受けた。中根寛展は完成した作品だけでなく、制作途中の作品もあり、わたしのように絵を描く人間にとっては勉強になりよかった。

委員D＝「暮らしのうつりかわり」は小学生の数が例年より少ないが、なせか。バスが出なかったのか、それとも新型コロナウイルスの影響か。

事務局＝新型コロナウイルス対策のため、例年手配していた市のバスを中止した。

委員A＝目標と実績の数字があげられており、自主企画の展覧会は入場者数が少ないが、数字だけ見て判断するのではなく、学芸の研究成果や、地元にとって重要な画家を見せていくのは非常に大事なことだと思う。入館者数を増やしていくことは館としてやらなければならないが数字だけでなく開催意義も考慮すべき。

委員D＝子ども美術博物館はどの展覧会も子供が多いので、スタッフがちょっとしたことでも声を掛けてくれたり、見かた、遊び方を親切に教えてくれたり、写真を撮ってくれたりするのがとても楽しく、またわかりやすくてよいと思う。

(2) 令和3年度 展覧会開催状況について

議長＝事務局から説明をお願いします。

事務局＝（会期を終えた美術博物館、地域文化広場及び美術館の展覧会の入場者数、各種企画内容、今後予定している展覧会等の内容を資料に沿って説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員B＝「岩合光昭写真展」は癒されてよかった。屋外展示はユニークでよかったが、斜面でのパネル展示は小さな子供が斜面を駆け上り、母親が慌てて追いかけていたのを見たので、安全対策をしたほうがよかったと思う。

事務局＝そのようなことがあったとは把握していなかった。ある程度は想定して、初の屋外展示を行ったが、今後屋外展示を行う際は安全対策もきちんと講じていきたい。

委員D＝収蔵品展について、今年度のコレクション展は昨年度の対話展のような感じの個性的な展覧会になるのか。

事務局＝4名いる美術担当の学芸員が収蔵品を活用し、それぞれのテーマで展覧会を企画し、全体のテーマも設ける予定。当館の収蔵品中心に活用した展覧会を予定している。収蔵品をうまく活用していくことが今後の美術館・博物館の任務だと考え

ている。

(3) 令和2年度新収蔵資料について

議長＝説明をお願いします。

事務局＝（令和2年度に購入又は寄附・寄託を受けた作品・資料について説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員C＝新たに収蔵した資料について、愛知県美術館のように新規収蔵品のお披露目はしないのか。

事務局＝そのようなことは必要だと考えているが、当館には常設スペースがなく、企画展をやりながら、新規収蔵品を紹介することが難しい。収蔵品展・自主企画展を開催するときうまく紹介できればと考えている。委員ご指摘の通りなかなかできていない部分なので、今後やっていく必要があると思っている。

委員C＝いいものがあるので、なるべくお披露目して、宝の持ち腐れにならないよう、光を当ててほしい。

事務局＝来年度の展覧会では令和2年度新規収蔵品を紹介するような企画を考えている。

委員A＝博物資料、文書の管理は、管理する市町村によっては教育委員会の文化財課が把握していたり、博物館が文化財の把握と管理をしていたりするが、個人が所蔵しているような資料はどの部署がしているのか。

事務局＝指定文化財は教育委員会の社会教育課が把握している。それ以外は当館で受け入れて保管している。

委員A＝他の市では個人蔵の資料を全部把握していなくて未指定の資料が散逸してしまうこともよく問題になるが、そういった管理はどちらが管轄か。

事務局＝当館に資料調査の依頼がある場合、こちらで調査に出向いているが、教育委員会の社会教育課とも情報共有したり、一緒に資料調査を行うなど連携している。本市では昭和から平成にかけて岡崎市史を編さんしており、その折に調査したものについては、当館が中心となり情報を把握しているが、それ以外は個人の方から申し出のない限り、把握できていない。

委員C＝収蔵品の管理について、地元作家の作品が美術館、それ以外は美術博物館。有名作家が子供の頃に制作した作品は子ども美術博物館でよかったか。

事務局＝そのとおりである。

委員C＝そうであれば昨年度収集した上田薫さんの作品は美術博物館で収蔵すべきではないか。

事務局＝上田さんは昨年度子美博で展覧会を実施した際にご本人から子ども美術博物館へ寄附の申し出があったものである。

議長＝そのあたりは難しいところであるが、寄贈された方の意思を重視している。

(4) 教育普及事業について

議長＝「定期講座等開催状況」について、事務局は説明願います。

事務局＝（令和2年度の「博物館実習」、「やさしいミュージアム講座」、「古文書講座」、「美術教室」の開催状況について、資料に沿って説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員C＝版画コースが4人しかあつまらなかったとのことだが、卒業展示の作品の評判が非常によく、自分もやりたい。復活させてほしいと私の方に連絡があった。版画は手軽で小学生にもできると説明があったが、非常にレベルが高く、岡崎市で版画を広めていきたいと思っている。安城の文化講座でエッチングやリトグラフをやっているが、岡崎の方が安城へ習いにいっている状況。今後版画や水彩画など広げてほしい。

議長＝美術協会の会員さんの教室で市の講座の宣伝などをやっていただけるともっとたくさんの人に知っていただけていいと思う。

委員C＝美術協会や文化協会とタイアップしたり、教室と市民展のつながりを持たせたりしたら面白いと思う。

(5) 美術博物館年間パスポートについて

議長＝事務局から説明をお願いします。

事務局＝（年間パスポートの販売中止・販売実績について、資料に沿って説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員D＝年間パスポートを復活する予定はあるか。

事務局＝年間パスポートは改修工事なども控えているので、数年間は復活する予定はない。

委員D＝年間パスポートの代わりに考えていることはあるか。

事務局＝新型コロナウイルスの感染状況によっては、臨時休館になることがあるため難しいと考えている。1つの展覧会に何度も入れる「リミパス」は展覧会の様子をみながら発行していく予定である。

(6) 美術館展示利用実績について

議長＝事務局から説明をお願いします。

事務局＝（美術館の入場者数、展示室の稼働率について資料に沿って説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

（意見・質問はなし）

次第3 議事

令和4年度開催予定の展覧会について

議長＝それでは議事の令和4年度開催予定の展覧会について、事務局からの説明を

お願いします。

事務局＝（令和４年度開催の各展覧会について、開催予定日、期間、内容等を資料に沿って説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員Ａ＝「ルネ・ラリック」は巡回展で、「名取春仙」は収蔵品展か。自主企画ということか。

事務局＝そのとおりである。

委員Ａ＝それぞれ目標入館者数は決まっているか。

事務局＝まだ決めていない。第２回協議会ではお示ししたい。

議長＝美術博物館では令和４年度は展示室環境改善工事があり、展覧会が２本しか開催できずさみしくなってしまうが、その分地域文化広場の展覧会を期待したいと思う。

ほかに意見もないようですので、令和４年度に開催予定の展覧会について、提案のとおり進めていくことを承認していただけますか。承認いただける方は挙手をお願いします。

（挙手全員）

次第４ その他

議長＝予定の議事事項は終了しましたが、４のその他について、事務局から何かありますか。

事務局＝（美術博物館展示室環境改善工事について説明）

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員Ｄ＝工事について市民の方に伝わるのはいつ頃か。

事務局＝令和５年度大河ドラマに合わせて特別展を開催したいということは６月市議会で答弁させていただいた。その際に、特別展の開催には改修工事が必要だということもお話した。工事のことは、来年度の予算編成に合わせて市民の方にはお知らせしていくことになるので、来年の３月市議会で示されることになる。

閉会あいさつ

特任館長＝令和４年度の展覧会計画のご承認をいただき、また、昨年度の展覧会については、常設展示も含め、ご意見をいただきありがとうございます。特に収蔵品展は、入館者数とは別の評価があるとのことご意見を頂戴し、励みになります。収蔵資料をどのように活かしていくかが今後大事な取り組みだと考えているので、いただいたご意見も参考に展覧会を計画していきたいと思っております。

事務局＝以上をもって、令和３年度第１回岡崎市美術博物館協議会を終了します。第２回の会議は来年２月を予定していますので、よろしく申し上げます。本日はありがとうございました。

—以上—